熊本学園大学　水俣学研究センター

第4回 水俣学 若手研究セミナー

水俣病の現在と水俣学の試み

水俣学研究センターは、地域に根ざし現地に学び、水俣病という負の経験を将来に生かすことを目指して設立され、調査研究・教育に取り組んできました。今回のセミナーは、私たちのそうした取り組みをベースに、次の世代を担う若手研究者に「水俣病事件の現在」を共有し、共に学ぶことを目的に開催します。なお、水俣学のモットーである現地に学ぶことを大切にし、座学ばかりではなく現地でのフィールドワークを大切にします。水俣病を直接研究テーマにするだけではなく、人類の負の遺産としての水俣病を学び、自分自身の研究活動に活かすことを目指す参加者を募集します。

2015年
9月4日(金)
～6日(日)

募集人数 15 名
受講料無料

＊水俣までの交通費及び水俣での宿泊費は各自でご負担ください

主 会 場
水俣学現地研究センター
(熊本県水俣市浜町 2-7-13)

お問い合わせ先
熊本学園大学 水俣学研究センター
tel :
096-364-8913
e-mail :
minamata@kumagaku.ac.jp

プログラム概要

9月4日(金)
オプショナルツアー：
水俣がはじめての人向けの水俣現地案内

開会式および趣旨説明、参加者自己紹介
セミナー① 花田昌宣（水俣学研究センター長）
セミナー② 宮北隆志（水俣学現地研究センター長）

9月5日(土)
特別セミナー　最首 悟（和光大学名誉教授）
フィールドワーク：水俣病被害者聞き取り

各グループからの聞き取り成果報告
受講者による討論会
湯の鶴温泉での懇親会

9月6日(日)
セミナー③ 中地重晴（水俣学研究センター事務局長）

グループごとでの議論
まとめのグループ報告と総合討論
閉会式

講師陣と担当セミナー

特別講師
最首 悟　和光大学名誉教授
不知火総合学術調査の経験
ー研究者の立ち位置

花田昌宣　熊本学園大学教授 水俣学研究センター長
水俣病 60 年を水俣学はどう語るか
：水俣病事件の歴史と現在の課題

中地重晴　熊本学園大学教授 水俣学研究センター事務局長
２０２０年目標と国際的な水銀規制
ー水銀条約の批准と日本の課題

宮北隆志　熊本学園大学教授 水俣学現地研究センター長
環境破壊を経験した地域社会の再構築
のための新たな統治とその評価

その他、フィールドワークでの案内等については、これら講師のほかに、水俣学研究センター関係者や水俣の住民が担当することがあります

応募資格・方法

応募資格：①大学院生あるいはPD、またはそれに相当する研究歴を有し、積極的に参加する意思を持つ者
②大学などにポストを有する研究者で、水俣病に関心を有する者
③卒業研究において水俣病等を課題としている学部生で、指導教員の推薦を得た者
＊これらに該当しない場合はご相談ください

提出書類：① 略歴書（所定の書式を使用、メールアドレスを明記）
② 自分の研究テーマ（1200 字程度で記載、様式自由）

応募締切：2015 年 8 月 7 日［金］

受講者の決定：8 月中旬に通知します（定員を超えた場合は、応募書類にもとづき水俣学研究センターにおいて選抜）
＊受講者はセミナーの全日程に参加することを前提とします
＊セミナー開催期間中の宿泊について、1 泊目は各自で手配をお願いします（宿舎の紹介はいたします）

応募・お問い合わせ先

〒862-8680 熊本県熊本市中央区大江 2 丁目 5-1　熊本学園大学水俣学研究センター
tel : 096-364-8913　/　e-mail : minamata@kumagaku.ac.jp

熊本学園大学 KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY